

第1回 射水市DX市民懇話会

日時：令和3年6月4日（金）19時から

場所：救急薬品市民交流プラザ3階 会議室1A・1B

次 第

1 あいさつ

2 説明事項

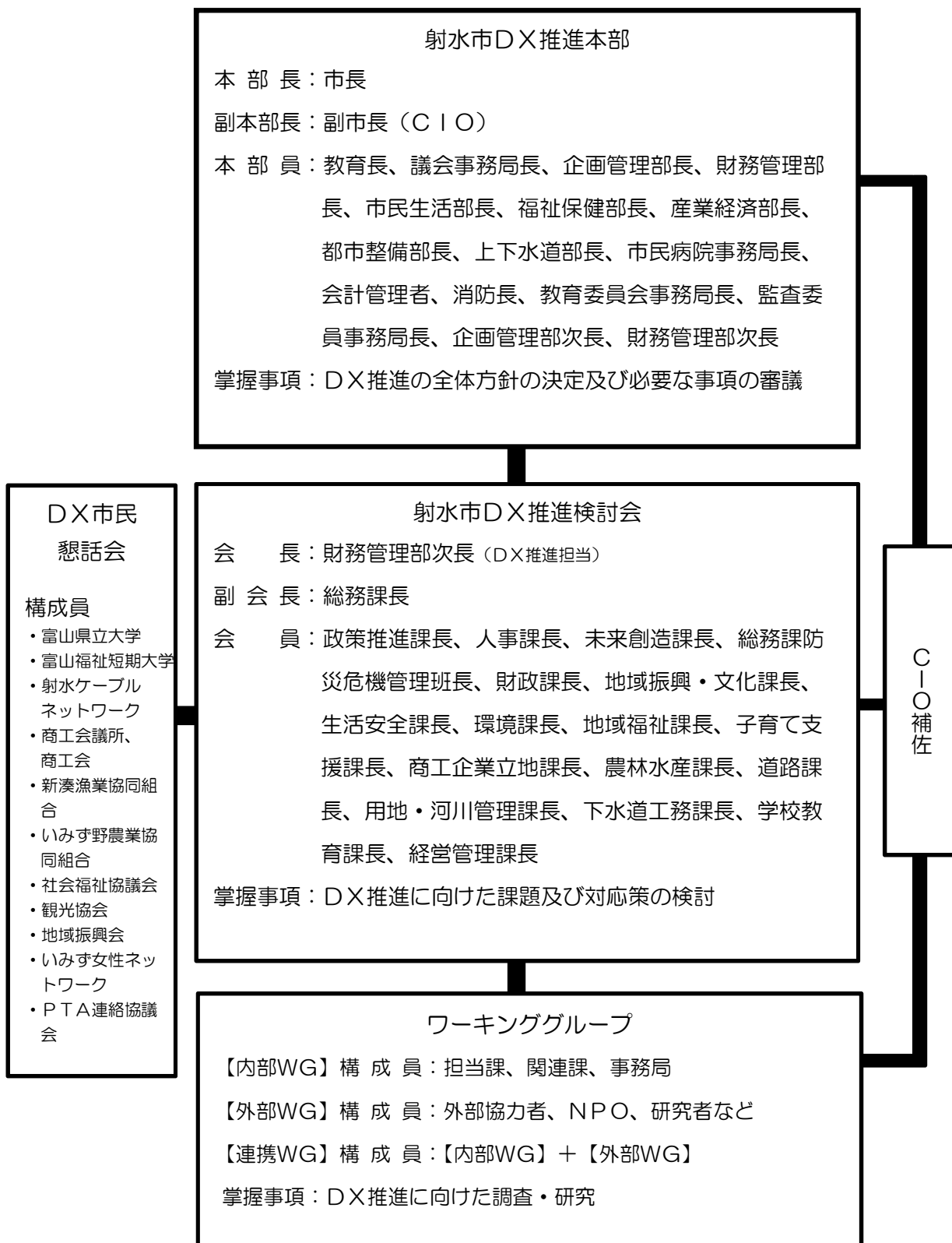
（1）射水市DXビジョンの策定について

（2）「射水市DXビジョン」をいま皆でつくる意味

3 意見交換

4 意見募集について

射水市DX推進体制



1 策定趣旨

誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる社会「Society 5.0」の実現に向け、IoTやロボット、人工知能（AI）といった社会基盤の在り方そのものに影響を与える新たなデジタル技術の導入が急速に進んでおり、あらゆる分野にこの技術を活用していくことが重要となっている。

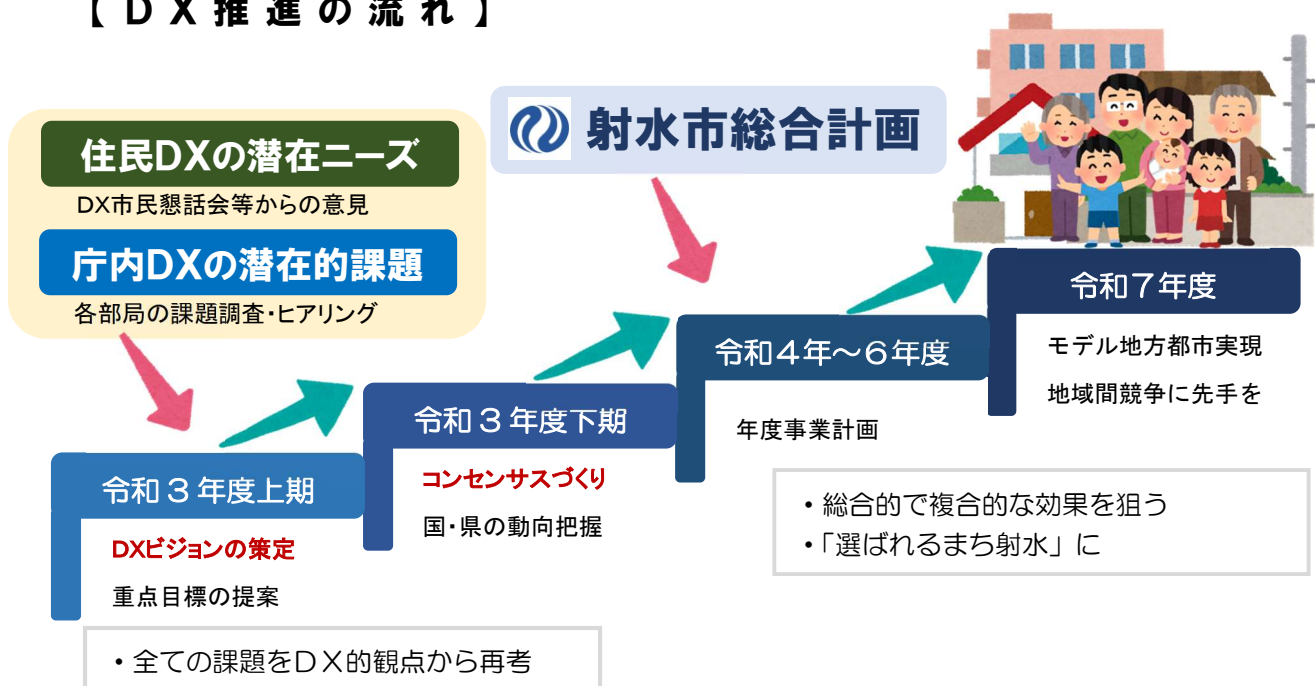
また、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに生活環境が大きく変化中、地方自治体においても「新たな日常」に対応するため、行政のデジタル化を推進することが求められている。

本市においても、少子化に伴う人口減少への対応や地域社会の活性化など、地方創生の実現に向けた取組を更に加速させるため、IoTやRPA等の新しい技術を積極的に取り入れながら、DX（デジタルトランスフォーメーション）を押し進めていくため、その指針となる「射水市DXビジョン」の策定を行うものである。

なお、計画期間については、国の自治体DX推進計画と同期し、令和3年度から令和7年度までの5か年間とする。

また、「射水市DXビジョン」には、4年後の令和7年度に目指すべき姿を示しながらも、社会経済情勢や国の動向、デジタル技術の進展を踏まえ、適宜見直しを行う。

【DX推進の流れ】



2 DX推進体制

本年4月に民間から専門的な知識・経験を持つ人材をCIO補佐として任用するとともに、指揮命令の迅速化を図るため市長を本部長とするDX推進本部を設置した。

(会議開催状況)

4月26日(月) 第1回DX推進本部

スピード感を持ってDXを推し進めるため、本年9月までに指針となる「DXビジョン」の策定を決定。

DXビジョン策定の考え方

(1)行政起点ではなく、住民起点、(2)将来を見据えたDX

上記を踏まえ、5月17日(月)に第1回DX推進検討会(関係課長で構成)を開催し、DXビジョン策定の考え方、課題調査の実施について庁内で情報共有。

6月4日(金) 第1回DX市民懇話会

本市が取り組むべき課題について意見を聴取。

<構成員>

富山県立大学、富山福祉短期大学、射水ケーブルネットワーク、射水商工会議所、射水市商工会、新湊漁業協同組合、いみず野農業協同組合、射水市観光協会、射水市社会福祉協議会、射水市地域振興会連合会、いみず女性ネットワーク、射水市PTA連絡協議会

3 策定に向けたスケジュール

- ・潜在的な課題について、庁内で調査・ヒアリングの実施(5月～8月)
- ・地域課題等について、DX市民懇話会から意見募集(6月)
- ・課題の整理と重点テーマの選定(5月～8月)
- ・射水市DXビジョンの公表(9月)

第一回 射水市DX市民懇話会

射水市DXビジョンをいま皆でつくる意味

2021年6月4日

射水市 CIO補佐 揚原 安磨
agehara_yasumaro@city.imizu.lg.jp
090-3297-9700

◇ DXとは？

射水市DX市民懇話会



(X) Digital Transformation → DX

(デジタル・トランスフォーメーション)

「デジタル化+発想の転換」で変身する

- ・ デジタルの送り手と受け手
- ・ これまでのIT化とは違う

両側で一緒に変身



- ・ 一部分では、ただのIT化
- ・ DXの受け手環境づくり
- ・ DXによる社会コスト減

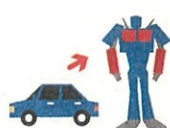
地域ぐるみの進化

トランスフォームの意味

手虫が蝶になる



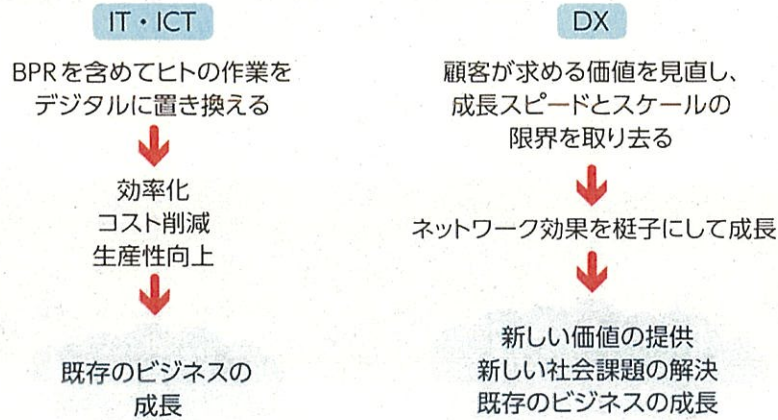
映画「トランスフォーマー」



▲トランスフォームとは、形がまったく異なるものになることを意味する。つまりDXは、事業そのものの形を変えるレベルのこと。



DXとこれまでのIT・ICTの違い

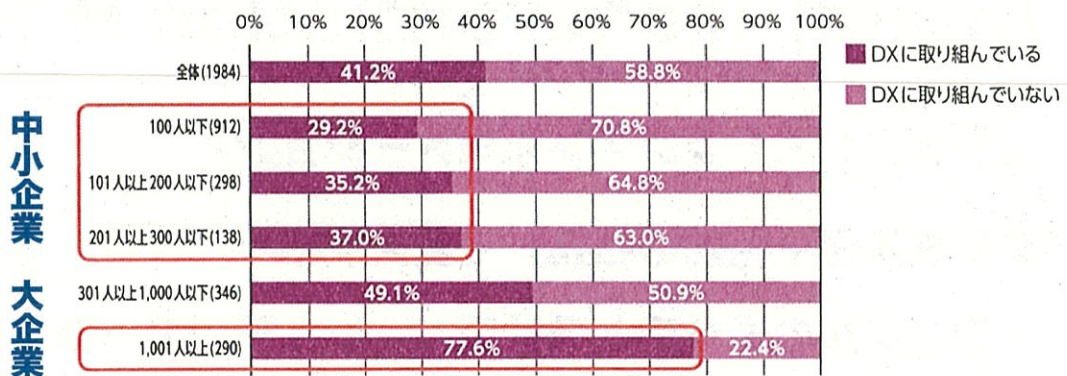


- 住民が社会課題を解決し、いち早くメリットを受ける
- 企業市民が、DX化でより強い雇用と発展を生む
- 「住み易さ」で射水が一步先んじる

◇ 日本企業におけるDXの進み具合



従業員規模別×取組状況

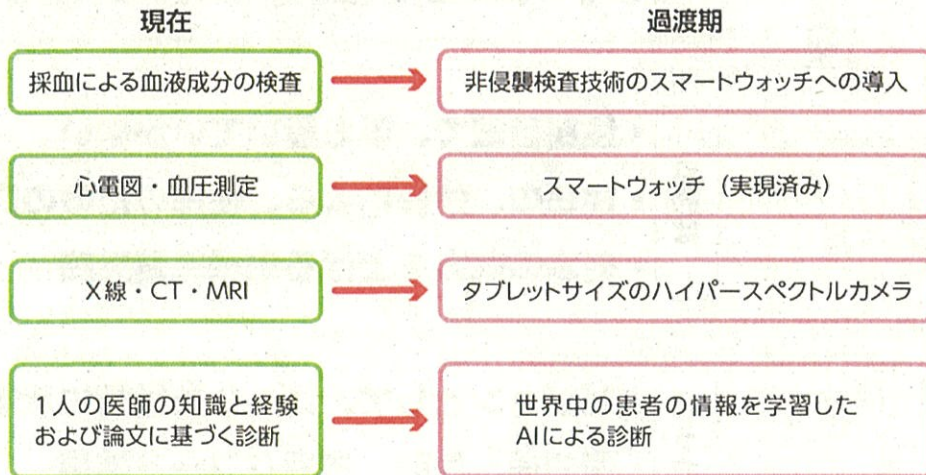


出典：独立行政法人情報処理推進機構「デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進に向けた企業とIT人材の実態調査 ～概要編～」P.8、2020年5月14日

- **DX**で、格差が広がる危険
- 企業のDX ⇔ 社会のDX ⇔ 住民のDX
- 行政がすべきは、地域社会のDX環境づくり



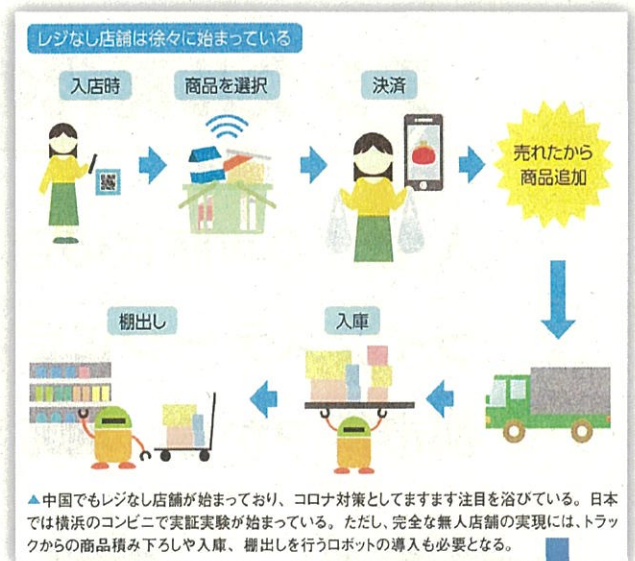
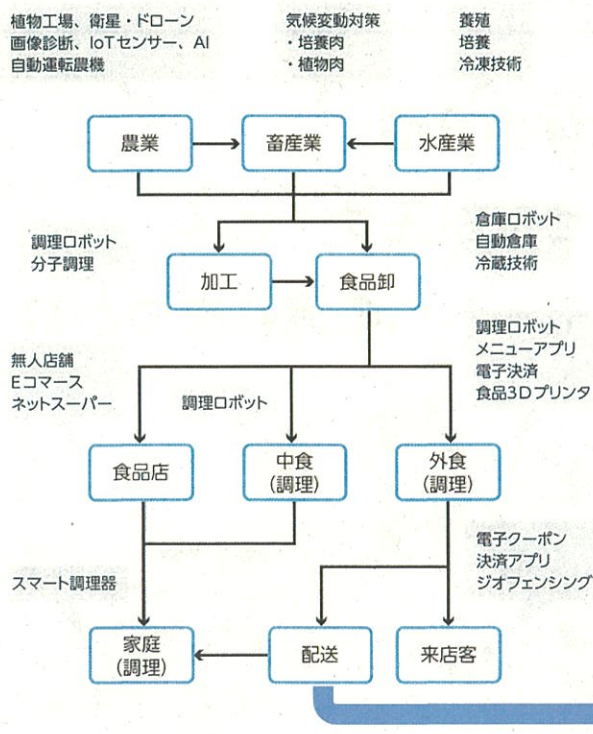
健康診断ビジネスの今後の展開の見通し



▲心電図と血圧の測定は、すでにスマートウォッチなどで24時間365日いつでも測定できる。毎日の測定やAI診断による精度の高い健康管理が主流となる可能性が高い。



食の世界を変えるFoodTechの活用例





射水市DX推進のポイント

目的は

- ・ 住民目線で、誰も置いていかない
- ・ 住民の、住民による、住民のためのDX
- ・ 射水の魅力を上げる地域戦略実践

どうやって

- ・ ビジョンとして、ゴールを最初に示す
- ・ 国や県、民間、市民パワーを結集
- ・ 技術の進歩を「優しさ」に

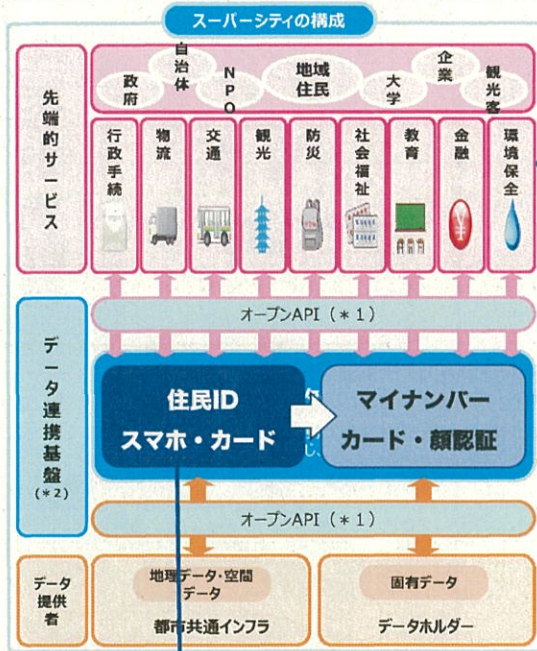
→ 「各方面と市内の潜在ニーズ」を集約



デジタル時代の地方都市の挑戦

- ・ 人生100年時代の自治体の役割
- ・ ライフステージに合わせた住民サービス
- ・ 都市集中から、地方リモートへの流れをつかむ

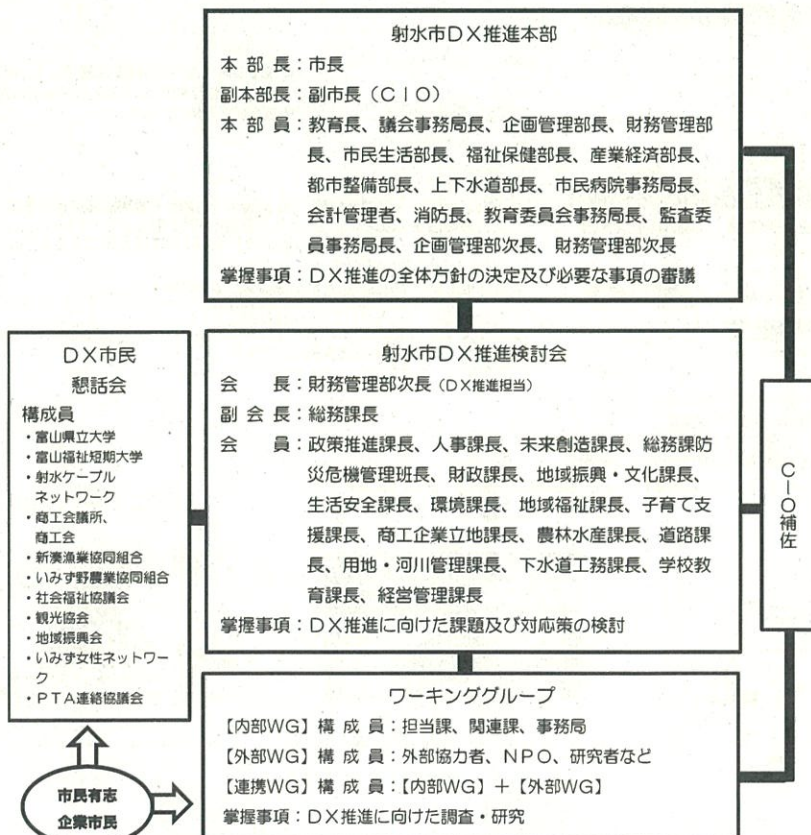
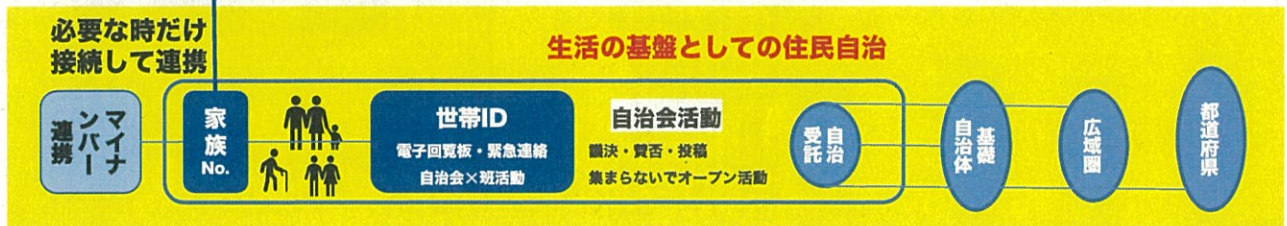




- 自治会+班連絡
- 地域振興会
- 地区社協+民生委員
- (一社)地域公共交通〇〇
- まちづくり協議会
- 特定グループ内連絡

- 全世帯ID・住民ID
- 広報誌/電子回覧板
- 緊急連絡・通達
- 安否確認
- 自治会連絡・会計
- 事業参加ID
- 事業評価投票
- ネット住民投票
-
- ちょいボラ交通
- ちょいボラ支援
- ちょいワーク
- シェアリング社会
- 昼間プラチナ食堂
- 社会福祉連携

- ・地区コミュニティセンター
- ・地元NPO運営者
- ・地元大学、IT企業、近隣市町
- 先端研究者
- 見守りサービス事業者
- デイケア事業者
- 中核病院、登録開業医
- DX取り組み企業



<令和3年度の流れ>

1. ビジョン作成のステップ

- 4月: 第1回KickOff
- 7月: 第2回テーマ検討
- 8月: 第3回テーマ選定、WG設置
- 9月: 「射水DXビジョン」公表
- 10月~第4回重点テーマの具体化

2. 意見やニーズの調査収集

- 5月・6月 庁内ヒアリング
- 6月上旬 第一回DX市民懇話会
- 7月中旬 第二回DX市民懇話会

テーマ別WGの開始

3. 関係各署とのコンセンサスづくり

- 10月~
- ・射水市市議会
- ・市民/住民
- ・企業市民、協賛企業
- ・先端研究企業
- ・国、県、近隣市町
- ・庁内調整

※ビジョン発表後も、ワーキンググループを継続して合意形成に協力



2020年(令和2年)12月18日(水曜日)



地域情報、住民に常時発信
石川町の町内会ICT活用

アプリ「結ネット」災害時の安否確認にも



「町内会」のICT活用は、住民の安全確保が最大の目的である。石川町の町内会では、ICTを活用して、住民の安全確保を図る。また、町内会の業務効率化を図る。...

町内会のICT活用は、住民の安全確保が最大の目的である。石川町の町内会では、ICTを活用して、住民の安全確保を図る。また、町内会の業務効率化を図る。...

町内会のICT活用は、住民の安全確保が最大の目的である。石川町の町内会では、ICTを活用して、住民の安全確保を図る。また、町内会の業務効率化を図る。...

福井新聞2021.5.12

(福井県新聞社提供)

住民の車高齢者の足に
納江・河和田 実証運行始まる

納江・河和田地区で、若年層の高齢者の移動を支援する「ちょいボラ交通」の実証運行が始まる。...

交通弱者解消へ協力
運賃 タクシーの6割

町内会が、高齢者の移動を支援する「ちょいボラ交通」の実証運行が始まる。運賃はタクシーの6割。...



納江・河和田地区で始まった「ちょいボラ交通」の実証運行。11日、町内会役員らが乗車した。...

◇ 「自治会アプリ」による住民DXの例



結ネットの強み — 主要4機能



- 個人別既読や回答確認等、役員の皆様の負担軽減を第一に考えた「ローカルグループウェア」
- 「個人」ではなく「組織」を基点とすることで「責任ある情報発信と共有」を実現
- これら4機能を横軸横断的に搭載することから、地域におけるワンストップアプリを実現できる
- 地域内各組織を結ネットで繋げることで相互に受発信できる地域ICTプラットフォームを構成

地域ICTプラットフォームサービス



「地域組織運営」「災害時安否確認」、そして「リアルタイム地域情報発信」の3システムを統合したクラウド型地域ポータルサービス

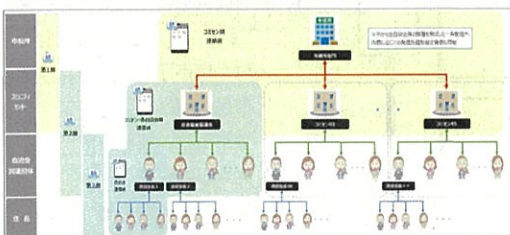
・ 取り組みの概要

- 喫緊の課題である災害時対策とその基盤となる町内会等地域組織運営の支援、そして自治体的地域活性化の具体策としての情報発信インフラを最新のICT技術を活用し、三位一体で実現することで「時代に合った街づくり」、そして「地方創生」に貢献することを目的
- 2014年より取り組みを開始
- 昨年まではモデル構築に注力するため県内に集中展開
- 今年度より自治体様案件を中心に県外対応開始
- 単なる「電子回覧板」でも、町内会支援ツールでもない、さまざまな地域組織を縦横に結ぶ地域ICTプラットフォームシステムとして開発

・ NHK取材レポート

各QRコードで動画を閲覧できます

結ネットで構築する広域双方向連絡網



- 自治体の組織体系に合わせた各団体間の双方向連絡網を規模問わず柔軟に構築
- 市→全自治会等必要に応じて縦横それぞれ階層飛びの発信も可能



H30.12.06 NHK カガのとイブニング
H30.12.07 NHK おはよう日本 (県内ニュース)
H31.01.19 NHK 朝の全国ニュース
<https://www.youtube.com/watch?v=dG616KMv0NE&t=152s>



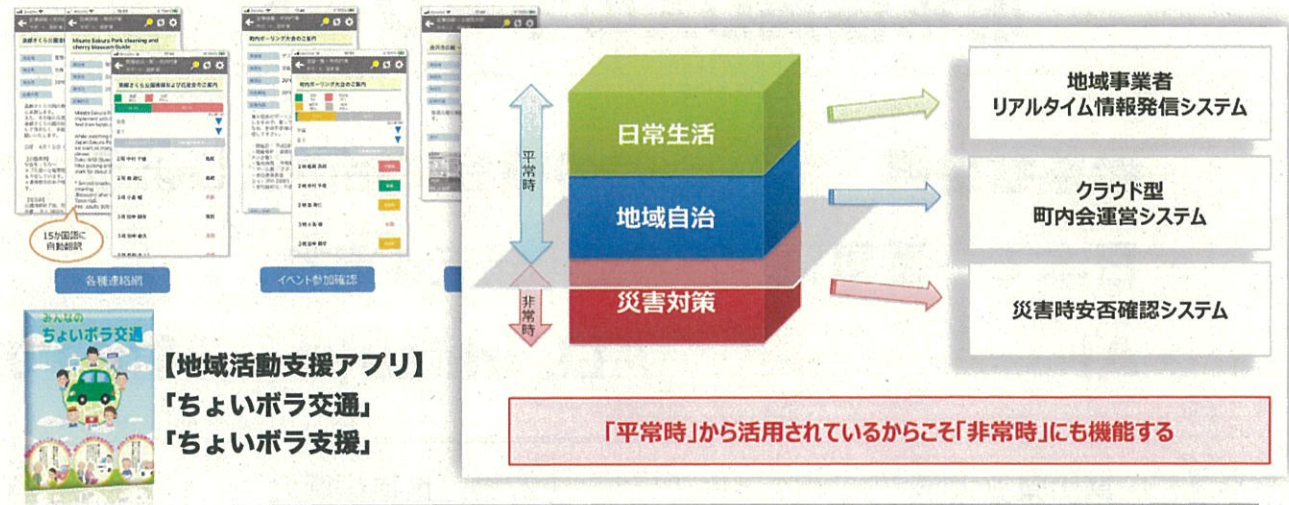
R01.08.26 NHK ニュースいしかわ645
<https://www.youtube.com/watch?v=r05H-VkPINM>





結ネットの日常機能

日常の地域組織及び自治体や関連団体の情報を一元的に共有



- ・住民主導で広まる生活支援の基盤
- ・直に世帯に、即時連絡できる「緊急用メディア」
- ・日常での「IT慣れ」が成否を分ける

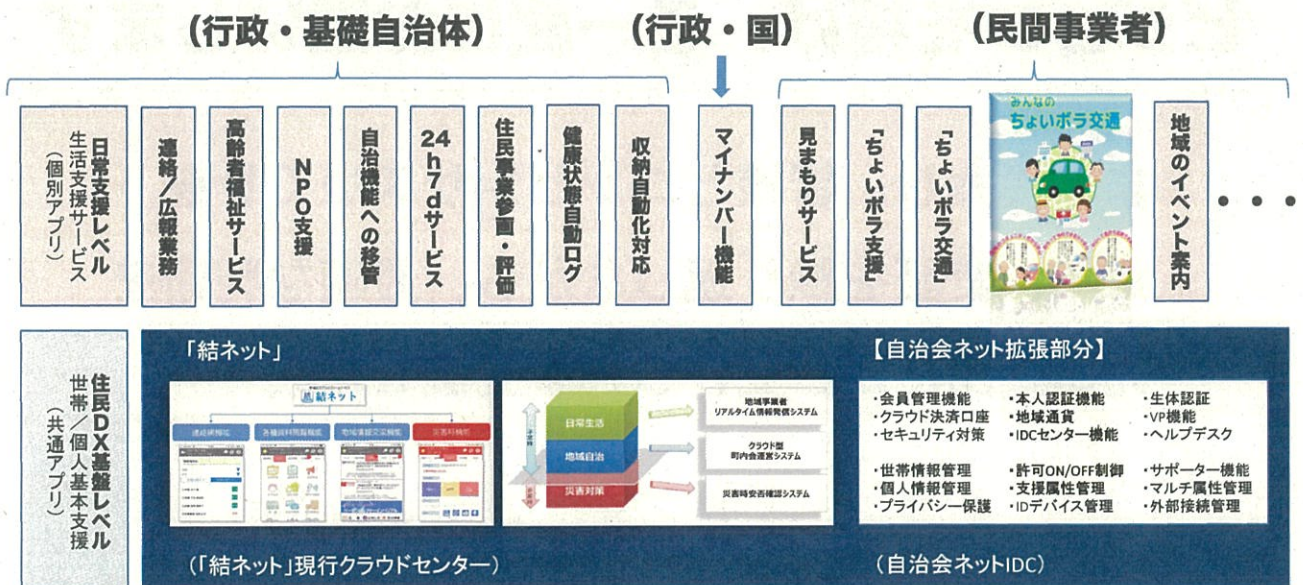


◇「自治会ネット」をベースにした住民DXとその先 2021.6.4



○行政サービスの利便性向上・効率化・インフラ化

○地域サービスを担う住民向けサービス・民間事業





射水住民DXのキーワード

- ・ **希望者全員** この機会に始めましょう
- ・ **日本で一番早い** 10年後を4年で
- ・ **AI** **ALL Imizu(オール射水)**で

- ・ 富山県立大学
- ・ 富山福祉短期大学
- ・ 射水商工会議所
- ・ 射水市商工会
- ・ 新湊漁業協同組合
- ・ いみず野農業協同組合
- ・ 27地区地域振興会
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 射水市観光協会
- ・ いみず女性ネットワーク
- ・ 射水市PTA連絡協議会
- ・ 射水ケーブルネットワーク



ビジョンを掲げ、一緒にお願いします

- ・ まず提案し、皆様とコンセンサスづくりを
- ・ 毎年、実証を繰り返しながら、最適な判断を
- ・ 先頭集団だから受けられる支援を結集



令和3年6月4日

各 位

射水市DX推進本部

本部長（市長） 夏野 元志

「射水市DXビジョン」策定に向けた意見募集について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

懸念される人口減少への対応や地域社会の活性化など、地方創生の実現に向けた取組を更に加速させるため、IoTやAI、ロボット等の新しい情報通信技術を積極的に取り入れながら、あらゆる分野にDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進していくことが重要となります。

このことから、スピード感を持ってDXへの取組を実現するため、まずは指針となる「射水市DXビジョン」の策定を行います。

このビジョン策定にあたり、下記のとおり意見募集を行いますので、ご協力をお願いします。

記

- 1 提出物 DX市民懇話会意見記入シート（別紙）
※メールで連絡いただければ、ワードファイルでお送りします。
- 2 提出期限 令和3年6月18日（金）
- 3 提出方法 メール 又は FAX

事務担当

総務課情報政策係 近岡、原

電 話 51-6615

FAX 51-6648

メール jouhou@city.imizu.lg.jp

DX市民懇話会意見記入シート

団体名	
記入者名	
<p>1 解決して欲しい課題</p> <p>2 DXの推進に期待するもの</p> <p>(その他、ご意見があれば、自由に記載してください。)</p>	